

平成22年度埼玉県青少年団体連絡協議会

研修会・交流会の御案内



埼玉県青少年団体連絡協議会は、県内の青少年団体の活動支援と交流の促進を図ることを目的に活動しています。今年も会員の皆様の資質向上と交流を目的に研修会及び交流会を実施します。ぜひ御参加ください。

■研修会

- 日時 平成23年2月5日(土) 午後5時30分～7時00分
- 会場 浦和ワシントンホテル3階 プリムローズ
- 内容 講師 坂本 博之氏 (元プロボクシング東洋太平洋ライト級チャンピオン)
演題 『自分の人生は、自分の力で切り開く。』

■講師紹介



1970年12月30日、福岡県田川郡川崎町生まれ。家庭の事情により1歳前から乳児院・児童養護施設に入退所を繰り返す。小学2年生のときに、児童養護施設「和白青松園」で8ヶ月を過ごし、ボクシングをテレビで見たことから、ボクサーになることを決める。

8歳で母と上京。小松原高等学校卒業後、東京都角海老宝石ボクシングジムに入門し、ボクシングを始める。1991年にプロデビュー、連続KOの山を築き脚光を浴びる。93年に全日本新人王となり、更に同年日本ライト級王座を獲得。96年には東洋太平洋同級王者となり、‘平成のKOキング’と呼ばれるようになる。

過去4度世界同級タイトルマッチに挑戦。いずれも失敗するが、2000年の畑山隆則戦ではボクシング史上に残る名勝負を演じた。

また、2000年には「こころの青空基金」を立ち上げ、和白青松園への支援活動を始める。

2006年1月、椎間板ヘルニアを克服して再起戦で勝利。47戦39勝(29KO)7敗1分。2007年1月6日現役を引退。

現役引退後、同ボクシングジムでトレーナーを務め、2010年1月より独立。引退後本格的に活動を始めた「こころの青空基金 SkyhighRingS～SRS～」で全国の児童養護施設で生活する子ども達へのこころの支援活動(SRSボクシングセッション)や、児童養護施設を退園し、プロボクサーを目指す子ども達への自立支援活動を精力的に行っている。2010年8月より、東京都荒川区西日暮里にて「SRSボクシングジム」を開設。会長としてトレーナー業に力を注いでいる。

また、講演活動、雑誌やテレビ、ラジオなど幅広く活躍の場を広めている。



■交流会

- 日時 平成23年2月5日(土)、午後7時15分～8時45分
- 会場 浦和ワシントンホテル3階 プリムローズ
- 会費 5,000円

※研修会のみ、交流会のみの参加も可能です。